

厚生年金保険・国民年金事業の概況 (平成 26 年 6 月現在)

1. 総括

(1) 適用状況

- 平成26年6月末の国民年金と厚生年金保険の被保険者数は、6,283万人であり、前年同月に比べて、17万人（0.3%）減少している。

表 1 制度別適用状況

	事業所数	被保険者数(人)			標準報酬月額 の平均 (円)
		総数	男子	女子	
厚生年金保険	1,821,196	35,976,229	22,937,580	13,038,649	303,257
船員以外	1,816,778	35,923,472	22,884,823	13,038,649	303,138
一般男子	・	22,884,213	22,884,213	・	343,809
女子	・	13,038,649	・	13,038,649	231,755
坑内員	・	610	610	・	336,318
船員	4,418	52,757	52,757	・	383,855
国民年金	・	26,851,773	9,062,186	17,789,587	・
第1号	・	17,179,920	8,865,008	8,314,912	・
任意加入	・	256,190	86,257	169,933	・
第3号	・	9,415,663	110,921	9,304,742	・
合計	・	62,828,002	31,999,766	30,828,236	・
人口	・	127,100,000	61,800,000	65,300,000	・
うち20～59歳	・	62,920,000	31,800,000	31,120,000	・
共済組合（平成 25 年 3 月末）	・	4,398,712	2,791,849	1,606,863	・

注 1. 厚生年金保険の被保険者のうち、坑内員及び船員は全員男子とみなした。

2. 人口は翌月 1 日現在の推計人口(総務省統計局)である。

(2) 給付状況

- 平成26年6月末の国民年金、厚生年金保険及び福祉年金の受給者数（同一の年金種別を除く延人数）は、4,308万人であり、前年同月に比べて、29万人（0.7%）増加している。

表 2 制度別年金受給者数

(単位：人)

	総 数	老齢給付		障害年金	遺族給付	
		老齢年金	通算老齢年金		遺族年金	通算遺族年金
厚生年金保険 計	32,335,810	14,386,140	12,395,350	397,340	5,118,986	37,994
旧共済組合を除く	31,801,823	14,061,836	12,306,883	393,312	5,002,734	37,058
旧 法	1,886,434	751,755	614,154	47,847	436,390	36,288
新 法	29,877,404	13,292,857	11,689,663	343,995	4,550,889	・
(再掲) 基礎あり	20,643,750	11,004,534	9,343,170	225,790	70,256	・
基礎または定額あり	21,794,524	11,578,221	10,216,303	・	・	・
基礎繰上げあり	1,737,352	434,805	1,302,547	・	・	・
基礎繰上げなし	20,057,172	11,143,416	8,913,756	・	・	・
基礎及び定額なし	3,187,996	1,714,636	1,473,360	・	・	・
船員保険（旧法）	37,985	17,224	3,066	1,470	15,455	770
旧共済組合計	533,987	324,304	88,467	4,028	116,252	936
旧 法	191,608	145,939	5,913	1,727	37,093	936
新 法	342,379	178,365	82,554	2,301	79,159	・
(再掲) 基礎あり	253,419	174,649	76,803	1,877	90	・
国民年金 計	31,638,012	28,958,653	775,762	1,806,378	97,219	・
旧法拠出制	2,037,600	1,181,327	775,762	64,821	15,690	・
新法基礎年金	29,600,412	27,777,326	・	1,741,557	81,529	・
(再掲) 基礎のみ	8,131,529	6,616,678	・	1,490,870	23,981	・
福祉年金	1,042	1,042	・	・	・	・
合 計	43,077,695	32,166,652	3,751,139	1,976,051	5,145,859	37,994

注 1. 新法老齢厚生年金のうち、旧法の老齢年金に相当するものは「老齢年金」に、それ以外のものは「通算老齢年金」に計上している。新法退職共済年金についても同様。（表 3 において同じ。）

2. 人数の合計は、厚生年金保険と同一の年金種別の基礎年金を併給している者の重複分を控除した数である。

3. 「基礎あり」は、同一の年金種別の基礎年金の受給権を有する者をいう。

4. 「基礎のみ」は、同一の年金種別の厚生年金保険（旧共済組合を除く。）の受給権を有しない基礎年金受給者をいう。

5. 寡婦年金については、新法においても存続しているが、第 1 号被保険者であった夫の妻のみに対して適用され、基礎年金一律の給付ではないため、新法分も便宜上旧法拠出制に計上している。（表 3 において同じ。）

○ 平成26年6月末の国民年金、厚生年金保険及び福祉年金の受給者の年金総額は、46兆2千億円であり、前年同月に比べて、4千億円（0.8％）減少している。

表3 制度別受給者年金総額

（単位：百万円）

	総 数	老齢給付		障害年金	遺族給付	
		老齢年金	通算老齢年金		遺族年金	通算遺族年金
厚生年金保険 計	25,486,639	17,663,830	2,361,235	294,707	5,157,007	9,860
厚生年金基金代行分除く	23,750,074	16,049,063	2,239,437	294,707	5,157,007	9,860
旧共済組合を除く	24,768,697	17,109,721	2,339,022	290,575	5,019,741	9,638
旧 法	2,032,452	1,287,430	231,854	55,841	447,885	9,442
厚生年金基金代行分除く	2,009,015	1,268,044	227,803	55,841	447,885	9,442
新 法	22,658,815	15,773,366	2,106,105	231,696	4,547,648	・
（別掲）基礎年金	14,010,373	7,660,875	6,089,687	190,829	68,982	・
厚生年金基金代行分除く	20,945,687	14,177,986	1,988,357	231,696	4,547,648	・
船員保険（旧法）	77,430	48,925	1,063	3,039	24,208	196
旧共済組合計	717,942	554,109	22,213	4,132	137,266	222
旧 法	387,496	338,355	2,768	2,643	43,509	222
新 法	330,446	215,754	19,445	1,490	93,757	・
（別掲）基礎年金	186,224	128,884	55,707	1,545	88	・
国民年金 計	20,690,145	18,866,922	171,259	1,559,755	92,210	・
旧法拠出制	801,598	566,769	171,259	56,465	7,105	・
新法基礎年金	19,888,548	18,300,153	・	1,503,290	85,105	・
（再掲）基礎のみ	5,401,590	4,085,112	・	1,292,340	24,138	・
福祉年金	413	413	・	・	・	・
合 計	46,177,197	36,531,164	2,532,494	1,854,462	5,249,217	9,860

注1. 年金総額には一部停止額を含む。

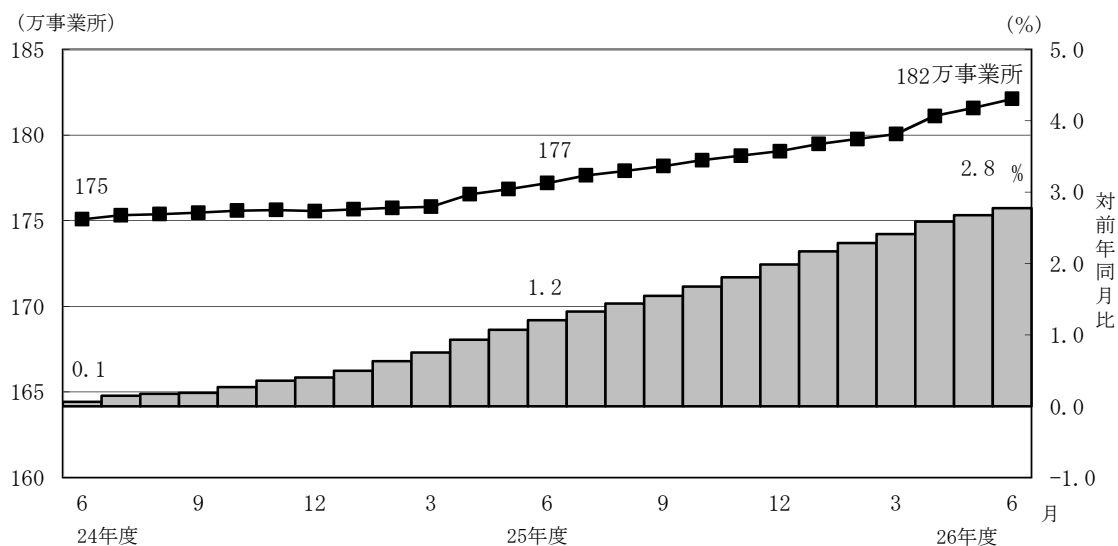
2. 「基礎のみ」は同一の年金種別の厚生年金保険（旧共済組合を除く。）の受給権を有しない基礎年金受給者の年金総額である。

2. 厚生年金保険

（1）適用状況

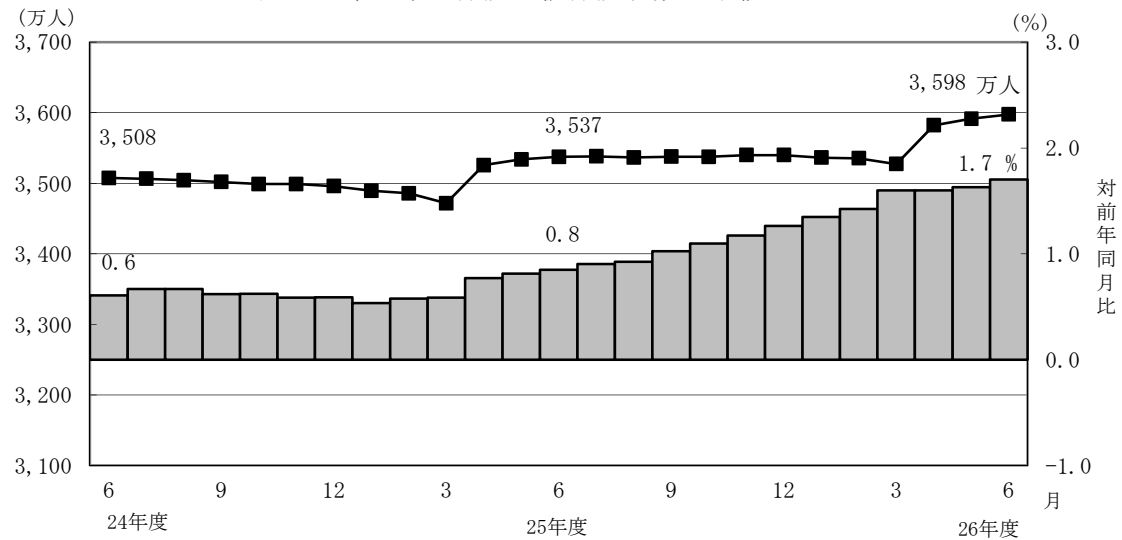
○ 平成26年6月末の厚生年金保険の適用事業所数は182万事業所であり、前年同月に比べて5万事業所（2.8％）増加している。

図1 厚生年金保険 適用事業所数の推移



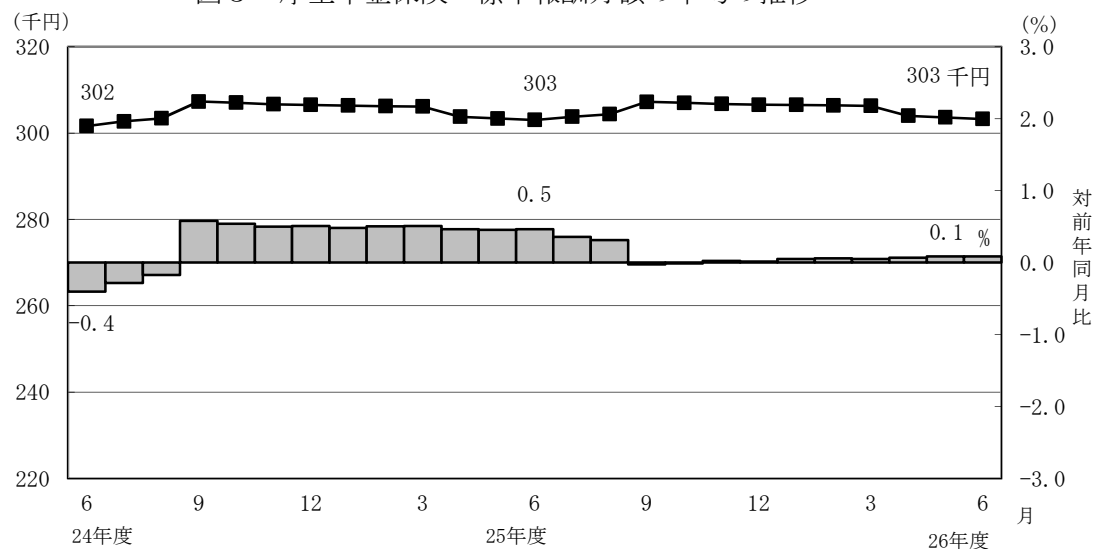
- 厚生年金保険の被保険者数は3,598万人となっており、前年同月に比べて60万人（1.7%）増加している。内訳をみると、一般男子が2,288万人（対前年同月比32万人、1.4%増）、女子が1,304万人（対前年同月比28万人、2.2%増）、坑内員が6百人（対前年同月比8人、1.3%減）、船員が5万人（対前年同月比2百人、0.3%減）である。

図2 厚生年金保険 被保険者数の推移



- 標準報酬月額額の平均は、30万3,257円となっており、前年同月に比べて0.1%増加している。内訳をみると、一般男子は34万3,809円（対前年同月比0.0%減）、女子は23万1,755円（対前年同月比0.6%増）、坑内員は33万6,318円（対前年同月比0.3%減）、船員が38万3,855円（対前年同月比1.4%増）である。

図3 厚生年金保険 標準報酬月額額の平均の推移

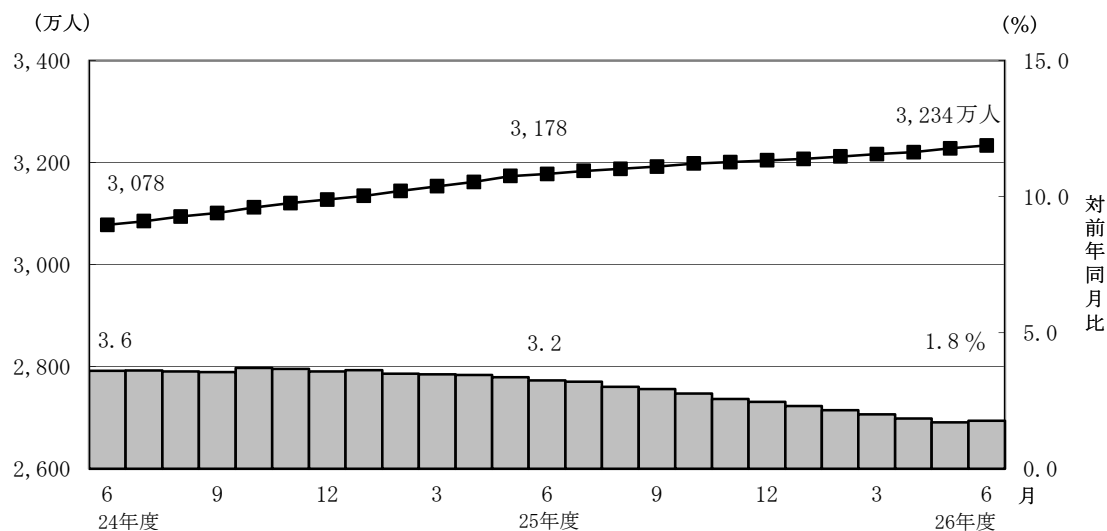


- 賞与支給事業所数は17万事業所、賞与支給被保険者数は947万人、標準賞与額の平均は56万2,528円となっている。

(2) 給付状況

- 平成26年6月末の厚生年金保険受給者数は3,234万人（旧法厚年分189万人、新法厚年分2,988万人、旧法船保分4万人、旧共済分53万人）で、前年同月に比べて56万人（1.8%）増加している。
- 老齢給付の受給者数は2,678万人（旧法厚年分137万人、新法厚年分2,498万人、旧法船保分2万人、旧共済分41万人）で、前年同月に比べて45万人（1.7%）増加している。
- 障害給付の受給者数は40万人（旧法厚年分5万人、新法厚年分34万人、旧法船保分1千人、旧共済分4千人）で、前年同月に比べて6千人（1.5%）増加している。
- 遺族給付の受給者数は516万人（旧法厚年分47万人、新法厚年分455万人、旧法船保分2万人、旧共済分12万人）で、前年同月に比べて10万人（2.0%）増加している。

図4 厚生年金保険受給者数の推移



- 平成26年6月末の老齢年金受給者の平均年金月額は、14万7,443円となっている。
老齢年金の新規裁定者（受給者）の平均年金月額は、8万1,449円である。

- 平成26年6月末における失業給付との調整に該当する受給権者数は7万人、高年齢雇用継続給付との併給調整に該当する受給権者数は31万人となっている。

表 4 雇用保険の給付と老齢厚生年金との調整

		失 業 給 付								
		件数（人）			総停止年金額（千円）			平均停止月額（円）		
		計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当
平成 26年	1 月	61,099	44,544	16,555	40,975,976	37,449,718	3,526,258	55,887	70,061	17,750
	2 月	59,270	43,038	16,232	39,384,829	35,936,880	3,447,950	55,375	69,584	17,701
	3 月	58,449	42,179	16,270	38,385,883	34,929,369	3,456,514	54,728	69,010	17,704
	4 月	56,069	39,848	16,221	35,740,183	32,308,398	3,431,784	53,119	67,566	17,630
	5 月	66,151	47,087	19,064	42,103,885	38,068,281	4,035,604	53,040	67,372	17,641
	6 月	69,441	49,258	20,183	44,108,652	39,864,397	4,244,255	52,933	67,441	17,524

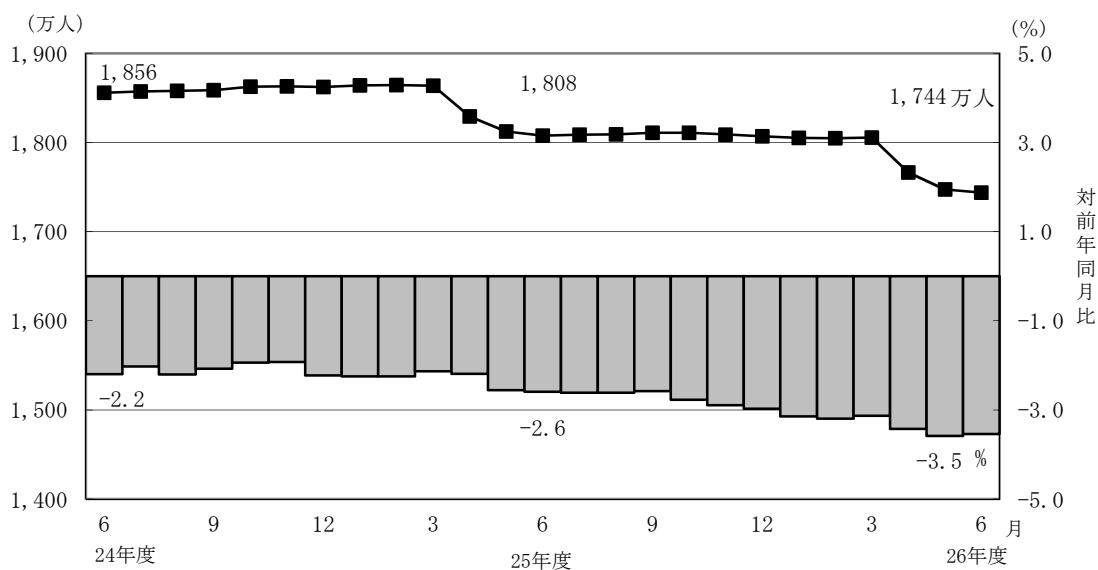
		高 年 齢 雇 用 継 続 給 付								
		件数（人）			高年齢雇用継続給付による停止総額（千円）			平均停止月額（円）		
		計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当
平成 26年	1 月	348,781	339,122	9,659	44,437,803	43,538,685	899,118	10,617	10,699	7,757
	2 月	342,851	333,298	9,553	43,709,361	42,820,144	889,216	10,624	10,706	7,757
	3 月	339,570	329,945	9,625	43,145,970	42,257,765	888,204	10,588	10,673	7,690
	4 月	329,366	319,932	9,434	41,753,441	40,879,454	873,987	10,564	10,648	7,720
	5 月	314,226	305,008	9,218	39,754,074	38,909,438	844,635	10,543	10,631	7,636
	6 月	308,991	299,814	9,177	39,122,084	38,279,324	842,760	10,551	10,640	7,653

3. 国民年金

(1) 適用状況

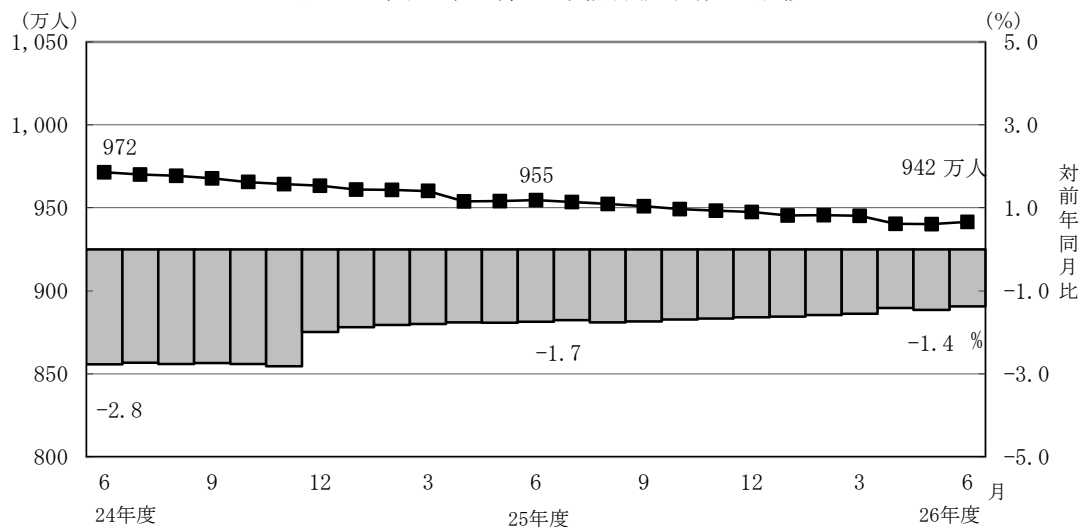
- 平成26年6月末の第1号被保険者数（任意加入被保険者を含む。）は、1,744万人となっており、前年同月に比べて64万人（3.5%）減少している。内訳をみると、男子は895万人（対前年同月比31万人、3.4%減）、女子は848万人（対前年同月比33万人、3.7%減）である。

図5 国民年金第1号被保険者数（任意加入を含む）の推移



- 第3号被保険者数は942万人となっており、前年同月に比べて13万人（1.4%）減少している。内訳をみると、男子は11万人（対前年同月比2千人、1.7%減）、女子は930万人（対前年同月比13万人、1.4%減）となっている。

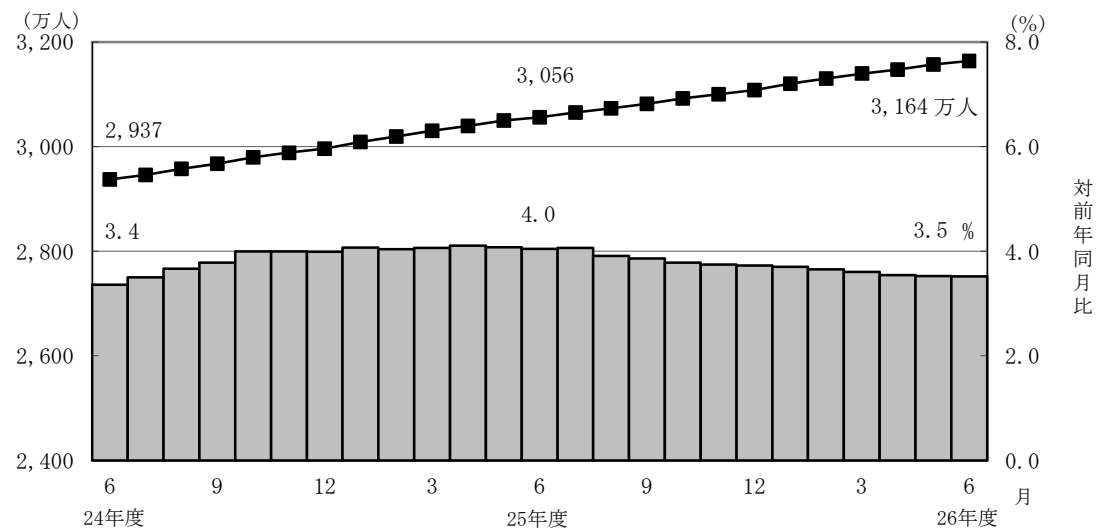
図6 国民年金第3号被保険者数の推移



(2) 給付状況

- 平成26年6月末の国民年金受給者数は3,164万人（旧法拠出制204万人、基礎年金2,960万人）で、前年同月に比べて108万人（3.5%）増加している。
- 老齢給付の受給者数は2,973万人（旧法拠出制196万人、基礎年金2,778万人）で、前年同月に比べて105万人（3.7%）増加している。
- 障害給付の受給者数は181万人（旧法拠出制6万人、基礎年金174万人）で、前年同月に比べて3万人（1.5%）増加している。
- 遺族給付の受給者数は10万人（旧法拠出制2万人、基礎年金8万人）で、前年同月に比べて4千人（4.4%）減少している。

図7 国民年金受給者数の推移



- 国民年金の老齢年金受給者の平均年金月額は、平成26年6月末で5万4,293円となっている。

老齢年金の新規裁定者（受給者）の平均年金月額は、5万757円となっている。

- 旧法老齢年金受給権者及び厚生年金の受給権を有しない老齢基礎年金受給権者について繰上げ受給の状況をみると、6月は新規裁定者1万8千人のうち繰上げ受給権者が2千人となっており、繰上げ受給率は13.1%である。なお、平成25年度新規裁定者の繰上げ受給率は14.4%となっている。